



# かかやく子ども

～自立と共生の礎を培い、今と未来を豊かで創造的に生きる子どもを育てる学校～

もっとチャレンジ!～かんがえる子ども すすんでする子ども 共に生きる子ども～

## 本年度の学校評価について… ありがとうございます

昨年2学期末に実施しました『学校評価 保護者アンケート』の集計結果を裏面に掲載しました。今回、いただきましたものをこれからの学校づくりに活かしていきたいと思ひます。また、「児童アンケート」や「教職員の自己評価」の結果とも合わせて『老上西小コミュニティースクール運営委員会』へ報告し、そこからもご意見を頂戴することにしてひます。

※ ※ ※

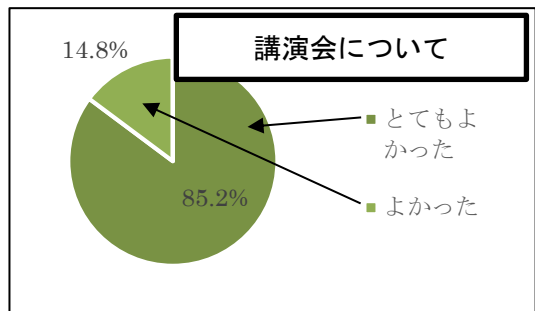
1月26日に行ひました第一年次研究発表(国立教育政策研究所指定研究)での滋賀大学大学院 畑稔彦 准教授による教育講演会に参加くださった方のご感想も一部を載せさせていただきます。本校の授業づくり、学力向上の取組はこれからも続きますし、子育てや子どもの教育についてご一緒に考えていただける機会には、より多くの方にお越しいたきたいと思ひてひます。

※難しい話をされるのかな?と思ひてひましたが、ペアで話したり、考えたりすることで子どもと同じように楽しく学ぶことができました。特に、畑先生のお子様への対応(旅行でのやりとりや絵日記など)は真似してみようと思ひました。

※とてもわかりやすく、これなら自分もできるかなあと思ひることがいくつもありました。子育てというか、一緒に学ぶ姿勢で子どもとかかわってきたいです。

※子どもに対して、「なんでこうしたの?」と怒ることが多いですが、「なぜこうなったのか」「次からどうしたらいいか」などを共に考え、伝えていければと思ひました。

※結果だけに目が行きがちですが、経過を大事にしていこうと思ひました。「なぜ?どうして?」ではなく、「どうしたらよかったと思ひます?」と、聞き方一つでずいぶん違うなあと感じました。自分の力で何事もできる子に育てていきたいと思ひます。



日本の選手にもメダリストが現れてきて平昌オリンピックもいよいよ盛り上がってきました。プロ野球もキャンプに入り、それだけで春近しを思ひます。

オリンピックでも野球でも、その他のスポーツでも、すばらしい成績を収めた選手への称賛を私も惜しみません。

ただ、最近はどういうわけか、絶頂期にある選手がナニモカモをぴったりのタイミングで最大限に発揮され、最高の結果を残されることにより、期待されながらそれに応えることの

できなかった人が、その後、どのようにされるのかの方により関心を持つようになり、栄光が過去になった人のその後もなお直向きになにかをめざそうとされる姿に強いシンパシーを感じるようになりました。

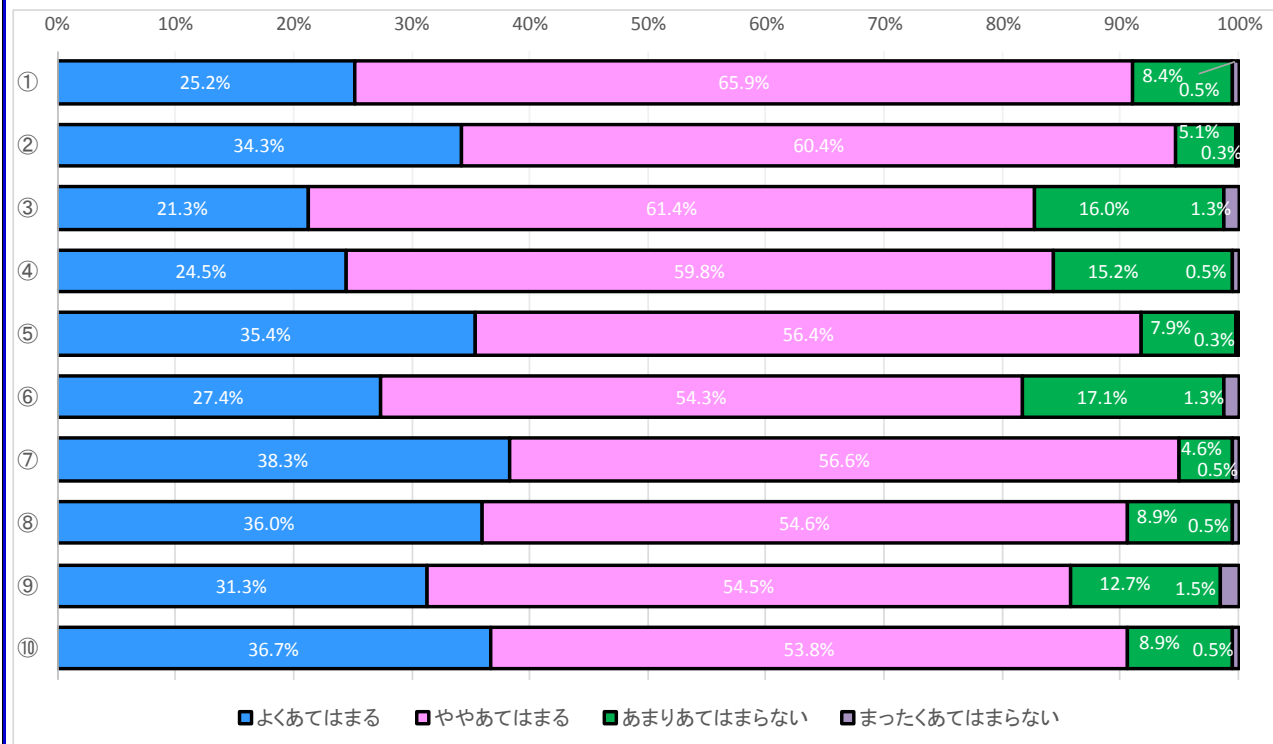
そして、子どもたちにも、どのような状況にあっても自らを受け容れ、自らをよしとし、希望や生きる意欲、気力、そのために必要な力を失わない人間になってほしいと思ひます。

(清水 康行)

# H29 学校評価に関わる保護者アンケート 集計結果

配付数 583 回収数 394 回収率 67.6%

①	学校は、本年度の重点目標「もっとチャレンジ! かんがえる子ども、すすんでする子ども、共に生きる子ども の育成」の実現に努力している
②	学校は、いのち、生き方、人権を大切にしている子どもを育てようとしている
③	学校は、子どもの学力の定着や向上を図っている
④	学校は、子どもをよく理解し、望ましい態度や言動について指導している
⑤	学校は、子どもたちの健康、安全を守るための対策に取り組んでいる
⑥	学校は、保護者との連絡や意思の疎通を密にしている
⑦	学校は、各種通信・たより・ホームページなどを通し、教育活動についてわかりやすく伝えている
⑧	学校は、保護者や地域住民の参加を促すために工夫している
⑨	学級懇談会や地区別懇談会、その他の学校の催しやサポーター活動はよいことだ
⑩	学校の教育環境（施設、設備）は満足できる



2学期末に実施しました保護者の皆様の学校評価アンケートにつきまして、ご協力ありがとうございました。集計結果をお知らせします。

10項目の質問について、いずれも「肯定的な回答」（「よくあてはまる」と「ややあてはまる」を合わせた数字）が80%以上となっており、本校の取組に一定のご理解をいただいているととらえました。

特に、①、②、⑤、⑦、⑧、⑩の6項目は、「肯定的な回答」が90%を超え、本年度の重点目標としたことや、学校が特に大切にしてきた内容、皆様と共に学校をつくっていきたいという願いなどをプラスに評価いただけたことをとてもありがたく思います。

しかし、これで十分とするのではなく、どの項目につきましても「よくあてはまる」の回答の割合を増やしていけるように努力を重ねていきたいと思ひます。

一方で、気になる項目が2点ありました。

一点目は、項目④の「学校は、子どもをよく理解し、望ましい態度や言動について指導している」を見ると、昨年度と比べて「肯定的な回答」の割合が、6.5ポイント減少しています。

学校としては、日ごろの指導やふれあいに加えて、児童アンケートを実施したり、教育相談週間を設けたりしていますが、さらにきめ細かな見取りや指導、支援に努めたいと考えます。

二点目は、項目⑩の「学校の教育環境（施設、設備）は満足できる」について、「肯定的な回答」の割合は、今回も90%を超えているものの、昨年度と比べると6.8ポイント減少しています。

「預かりものの学校を大切にしよう」などの呼びかけは現在も続けており、子どもたちにも日々の掃除をがんばる姿などが見られます。今後も継続して、公共の施設としての学校を大切に使う意識を培っていきます。

今回のアンケート結果やいただいたご意見を活かしながら、さらによりよい学校となるよう来年度の教育活動を計画し、精一杯に取り組んでいきたいと思ひます。

保護者の皆様には引き続きご支援、ご協力をよろしくお願ひいたします。